

# 【ねがいましては】

平成17年5月26日

第177号

KYOWA SCHOOL

「風に吹かれよう」

「せんせい、こんにちは。」

Yちゃんが1年ぶりにきました。現在高校2年生。2年程前に引っ越したのにもかかわらず、高校が決まるまでここへ通い続けてくれたYちゃん。学校で育てたという花をたくさん持ってきてくれました。

「学校の先生に選んでもらったんです。」

ねこのけいちゃんが亡くなったのを話したところ、こんなにも多くの花を・・・。

「土や花々をいじっている人に悪い人なんかいないよ。」・・・と、私。

で、この日はお天気も上々です。みんなで草取りでもしようかということで、Yちゃんを中心に駐車場の草取りです。このところのおだやかなお天気に、雑草君も思いきり背伸びを決め込んでいます。

緑の中のけいちゃんもお似合いでしたが、緑の中の子どもたちは、やはり絵になります。

釣りに出かけた折、車を走らせる途中に田舎町の中の小ぢんまりとした小学校に出会うことがあります。

「いいなー、こんなところで生活する子たち・・・、笑顔が似合うよなー。」

すがすがしい風に吹かれ、さえぎることのない景色が続きます。耳にかかる風の音が、鳥のさえずりが、そこへ通う子どもたちの笑顔を引き立てて脳裏に現れます。

その子たちの「家族」・・・お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん、きょうだいたちが助け合って生活しています。自然の中に溶け込んで、当たり前のように来る毎日を、当たり前のように淡々と生ききっています。私は癒された気持ちで満たされます。

この風景に似合う笑顔が浮かんできます。「家族って素晴らしい・・・。」ふと思います。

理想が過ぎるかもしれませんが、その思いを今ここで草取りをしている子達に重ねます。

15分ほどして子どもたちは戻りました。授業はしなければなりませんので・・・。いつもよりもっと自然体で机に向かっている子供たち。

それから30分ほどしたでしょうか、Yちゃんが戻ってきました。そっと窓を開けると、きれいに雑草君たちが刈られています。

「なあみんな、見てごらん。きれいだよ。」

「うわー、すげー・・・。」皆、口々に感動の言葉。

彼女は学校帰りの制服のままで草を刈ってくれました。どうかご想像いただけたらと思います。そとには行き交う人もいます。そのことなど気にもせずに、ただひたすら草を刈る姿。

頭が下がります。なぜここまできれいな心を・・・。高校へ入って1年が過ぎ、ますます心をきれいにさせて行くYちゃん。けいちゃんの写真を見、鼻をすすります。

「どうだい、ここへ来ると落ち着くかい・・・。」

「うん、わたしアルバイトをしているんです。それで買ってきたんですよ。」と、シュークリーム。

小田和正さんのDVDが発売になって、その中の「たしかなこと」(明治生命のCM)の中の言葉がとても似合います。その詩の中の一つ二つをいただいて、飾りたいと思います。

自分のことを大切にしてください 誰かのことをそっと想うように  
疑うことをするくらいなら 信じることをしてください  
毎日空を見えていますか 風の音を聞いていますか

いちばん大切なことは 特別なことではありません  
ありふれた日々の中で 僕らが  
同じ風に吹かれて 同じ時を生きていることを  
感じてください



どんなに時間が流れようとも、温かい家族はその人の心の中で生きつづけます。家族あつての幸せです。  
あなたのその優しさも、きっとご家族の方たちからいただいたものなのです。  
家族を思う心・・・。それはあなた自身の幸せの土台となる心なのですから・・・。